

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	Daihoku marshe in 大糸線 ～まるっと大北味わい旅～
事業主体 (連絡先)	(一社) 大町青年会議所 担当：高山典和 0261-85-2338
事業区分	(6) 産業 振興、雇用拡大に関する事
事業タイプ	ソフト
総事業費	682,068円 (うち支援金：365,000円)

#### 事業内容

大糸線にて観光列車「風っこ号」の運行。

停車駅での物産品販売やふるまい、地域住民とのふれあいや車内からの景色など(観光資源)のPR。

##### 【停車駅での出展ブース】

- ・南小谷駅にて白馬振興公社による特産品の販売、ゆるきゃらのお出迎え。
- ・信濃松川駅では、松川村観光協会駐車場にて、池田町(観光協会)、大町市(いーずら大町特産館(委託販売))、松川村(道の駅松川、松川商工会青年部)と合同

##### 【車内での催し】

- ・松本～松川駅間の往路及び復路においてアイリッシュケルトの演奏。
- ・白馬駅から南小谷駅まで白馬村ゆるきゃらムラオ及び小谷村ゆるキャラたりたりが乗車。ゆるきゃらとじゃんけん大会をし、また記念撮影を行った。

##### 【車内飲食物】

信濃大町駅にて、北アルプス山麓ブランドの弁当「古紫姫(こしき)」(だいきく食品)と飲料を配布。

#### 事業効果

①参加者が、他では得られない思い出をつくる事が出来、大北地域のファン醸成に繋がった。アンケートなどではまたこの地域に来たいとの意見が多くあった。

②地域の人々が、自分たちのまちの素晴らしさに気づき、その価値・魅力の有効的な発信方法や、有効活用方法等について考え、行動に移すきっかけに繋がった。特に、沿線上や駅、物産店等で、乗車せずとも写真撮影や話を聞きにくる地元民の方もいた。

③地域間連携の重要性が地域に広がり、地域間連携を軸にした、新たな取り組みやアイデアの創出に繋がる一助になった。松川駅では、観光協会や道の駅など多くの方々の連携を図ることができた。

④大北地域外からの参加者の感想を聞くことで、この地域の人々が近すぎて気がつくことのできなかつたこの地域の魅力を発見し、さらなるこの地域の宝を認識してもらう機会となった。



【車内でのケルト演奏の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①参加者に大北地域の価値・魅力を、肌で体験し、知ってもらうこと
- ②参加者の大北地域に対する評価を、様々なかたちで地域の人々に伝え、地域の人々に自分のまちの素晴らしさを気づかせること
- ③地域の人々に大北地域をつなげることが新たな価値を生む可能性があることを気づかせること
- ④大北地域外からの観光客に、この地域の魅力や特色を知ってもらうとともに、この地域に住む人々には気づけなかつた新たな魅力を見いだして貰う。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

鉄道ダイヤの都合もあるが、当初予定していた地元民と交流が少なくなってしまう。ただ、事業の参加者からは評価を得られた。

### 今後の取り組み

- ・本事業の成果を協力・後援いただいた団体にフィードバックし、観光列車での観光客の誘致の可能性また地元の特色を再認識していただく。
- ・各地が連携することで、効果の高い事業や政策が行えることに気付いてもらう。